

住環境の整備に焦点

3月定例町議会

一般質問

環境・下水道対策

○ 川の汚れのいちばんの原因は生活排水といわれており、下水道の整備や合併処理浄化槽の普及が急務となっている。

いま、農業用の水路はどぶ川と化している。

○ 町は今後の環境対策をどう考えているか。

○ 住環境、とりわけ自然環境の保護は住民の最大の関心事である。町としても今後の重点施

策として取り組むことを基本に

① 下水道事業の根幹ともいえる「下水道整備構想エリアマップ」が平成2年3月に完成したので、これに基づき、県や関係市町村と協調し、早期実現をめざす。

② 合併処理浄化槽はこれまで16基の（設置）実績があり、平成3年度に14基分の予算を計上した。しかし、これだけでは不十分なので、補助制度のPRに努めるとともに、必要に応じて予算を追加し普及を図りたい。

③ 農業用の水路については、関係者と合同で調査し、改善策を見出したい。

私道の側溝整備

○ 宅地分譲地内の道路側溝を整備してほしいとの住民要望に対し工事が遅れている。理由は何か。今後の対応は。

○ 私道の側溝を整備するためには、まず「町道」としての認定が必要であるため、道路部分の地権者の同意を得なければならない。しかし、

私道の場合は共有地が多く、権利者が大勢いることや、すでに転売されているケースもあつて全員の同意が得られない状況だ。同意が得られ次第工事にとりかかる。



ホームヘルパーによる在宅福祉サービス

高齢化福祉対策

○ 高齢化社会を目前にして、国では福祉対策10か年戦略を定めたと聞く。横芝町にあつては、



農業用水路に流れ込む生活排水